

ナサニエル・ホーソン研究
Working Checklist: 2004-2005

矢作三蔵 (学習院大学)
川村幸夫 (東京理科大学)

I. Books

- 入子文子 『ホーソン・《緋文字》・タペストリー』 南雲堂 (2005 年)
曾我部学 『アメリカ・ピューリタニズム系譜の作家たち——エドワーズ, エマソン,
ホーソン, メルヴィル』 文化書房博文社 (2005 年)
柴田元幸・青木健史(訳) ナサニエル・ホーソン/エドゥアルド・ベルティ著
『ウェイクフィールド/ウェイクフィールドの妻』 新潮社 (2004 年)
武田千枝子 『ハウエルズとジェイムズ——国際小説に見る相互交流の軌跡』
開文社出版 (2004 年)

II. Bibliographies

III. Translations

IV. Articles

- 青井格 「ホーソンと海: *The American Notebooks* に関する一考察」 『近畿大学九州工学部
研究報告』 32 近畿大学(2004 年), pp. 123-127.
飯島徹 「日曜日に在宅して」 『戸板女子短期大学研究年報』 47 (2004 年), pp. 3-9.
稲富百合子 「The House of the Seven Gables の結末についての考察」 『Kassui
English Studies』 12 活水女子大学大学院文学研究科研究論文集 (2004 年),
pp. 1-23.
入子文子 「The Scarlet Letter とシェイクスピアの長編物語詩 The Rape of Leaves」
『フォーラム』 9 日本ナサニエル・ホーソン協会 (2003 年), pp. 1-15.
—— 「ホーソン生誕二百年を記念して——アメリカとヨーロッパを結ぶ新しい
コンテクスト」 『學燈』 101(1) 學燈編集室 (2004 年), pp. 6-9.
岩瀬恒子 「Hawthorne's Self--reflexiveness in The Artist of the Beautiful」
『言語と文化』 4 東洋大学言語文化研究所設置準備委員会 (2004 年), pp. 99-106.
大和田俊之 「批評家メルヴィル——"Hawthorne and His Mosses"における国家と文学」
『慶応義塾大学日吉紀要英語英米文学』 46 (2005 年), pp. 143-156.
岡部敏 「ナサニエル・ホーソン小論——想像と現実の狭間」 『東北工業大学紀要

2 人文社会科学編』24 (2004 年), pp. 59-78.

笠原慎一郎 「森の妄想から出られなかった Young Goodman Brown」『明星大学大学院
英米文学』11 (2004 年), pp. 43-57.

柏原俊樹 「ヘスターの隣に眠る者——『緋文字』覚え書」『実践英文学』56 (2004 年),
pp. 13-26.

城戸光世 「緋文字を読む者, 『緋文字』を読む者」伊藤詔子・吉田美津・横田由理(編著)
『新しい風景のアメリカ』南雲堂 (2004 年), pp. 79-102.

——, Deming, Alison Hawthorne. 「アメリカ発ネイチャーライティングの古く新しい声——
アリソン・ホーソン・デミングへのインタビュー」『文学と環境』7 文学・環境学会
(2004 年), pp. 82-88.

小久保潤子 「ロマンティック・ゴシック——19 世紀アメリカン・ゴシック/ロマンスの
不可分性——」『フォーラム』9 日本ナサニエル・ホーソン協会(2003 年), pp. 41-55.

小宮山真美子 「Market-Place における発話行為——『緋文字』のテキストに残る
吃音・残響音の行方——」『成蹊人文研究』13 (2005 年), pp. 1-15.

佐々木英哲 「逆流する愛と聖父のジェンダー: 『緋文字』にアメリカン・ウェイを読む」
藤森かよこ(編)『クリア批評』世識書房 (2004 年), pp. 219-246.

鈴木繁 「劇としての The Scarlet Letter (2)」『佐賀大学文化教育学部研究論文集』9(1)
(2004 年), pp. 117-145.

高島まり子 「ナサニエル・ホーソンと C.G.ユング(1)「父なるもの」と「母なるもの」を
中心とした比較考察」『鹿児島女子短期大学紀要』39 (2004 年), pp. 131-145.

高橋利明 「眼差しの美学——偉大なる岩の額とアーネストの「崇高」について——」
『フォーラム』10 日本ナサニエル・ホーソン協会 (2005 年), pp. 33-44.

塚田英博 「マーガレット・アトウッドの本質: 批評家と作家の間」『英米文化』34
英米文化学会(2004 年), pp. 127-150.

時実早苗 「The letter Killeth: Literality and The Scarlet Letter」『千葉大学人文研究』33
(2004 年), pp. 297-329.

中井紀明 「ホーソンの性「差別」について」『英米評論』19 桃山学院大学 (2005 年),
pp. 117-132.

中村栄造 「ホーソンと頭の皮を剥ぐ女——ホーソンのインディアン捕囚体験記
「ダストン一家」の特異性を巡って——」『フォーラム』10 日本ナサニエル・ホーソン
協会 (2005 年), pp. 17-30.

中村正廣 「The Removal of the Preface of Hawthorne's "Rappaccini's Daughter"
and the Indian Question」『愛知教育大学研究報告 人文社会科学』53 (2004 年),
pp. 93-101.

中山慶治 「ナサニエル・ホーソンと「悪」の問題——"young Goodman Brown"を
中心に」『松山東雲女子大学人文学部紀要』12 (2004 年), pp. 53-63.

西前孝 「欲望のレトリック——『ブライズデイル・ロマンス』を読み直す——」
『フォーラム』9 日本ナサニエル・ホーソン協会 (2003 年), pp. 1-17.

- 乗口眞一郎 「毒娘: "Rapaccini's Daughter"の基調音が意味するもの——Poison と Science」『北九州市立大学外国語学部紀要』110 (2004 年), pp. 1-26.
- 萩原力 「1850 年のホーソン批評——『緋文字』の場合」『専修人文論集』75 (2004 年), pp. 1-16.
- 福岡和子 「アリス・ピンチョンの悲劇とホーソンの人種意識」『英文学評論』76 京都大学大学院人間環境学研究科英語部会 (2004 年), pp. 133-147.
- 「他者との遭遇——『大理石の牧神』論」『英文学評論』77 京都大学大学院人間環境学研究科英語部会 (2005 年), pp. 49-67.
- 藤吉清次郎 「The House of the Seven Gables 論——明るい結末が意味するもの」『活水論文集 英語学科編』47 活水女子大学英语科 (2004 年), pp. 17-31.
- 松阪仁伺 「『緋文字』と律法」『兵庫教育大学研究紀要 第 2 分冊 言語教育, 社会系教育, 芸術系教育』24 (2004 年), pp. 11-19.
- 「伝説と『緋文字』」『言語表現研究』21 兵庫教育大学言語表現学会 (2005 年), pp. 1-11.
- 水野眞理 「パッションとスティグマ——ウィリアム・シャープを手がかりにしてホーソンを読む」『英文学評論』77 京都大学大学院人間環境学研究科英語部会 (2005 年), pp. 69-91.
- 吉田恭子 「The Acts of Reading in The House of the Seven Gables」『慶応義塾大学日吉紀要英語英米文学』46 (2005 年), pp. 109-141.
- チャンバース, ティム 「ホーソンとメルヴィルのピューリタニズムの遺産」『国際英語学部紀要』2 中央大学国際英語学部 2002, pp. 43-48.
- Mukai, Kumiko 「The Social and Artistic Avant-Garde in The Scarlet Letter: The meaning of Embroidery」『Journal of the American Literature Society of Japan 2003(2)』(2003 年), pp. 1-18.
- Okumura, Tomoko 「"I" Reference in the Age of Journalism: Narrative Discourse in The Bostoninas」『フォーラム』9 日本ナサニエル・ホーソン協会 (2003 年), pp. 59-77.
- Pfister, Joel 「Hawthorne as Reform Theorist」『フォーラム』10 日本ナサニエル・ホーソン協会 (2005 年), pp. 1-16.
- Ramsey, David S 「Sources for Hawthorne's Treatment of a White Mountain Legend」『言語文化論集』26(1) 名古屋大学大学院国際言語文化研究科 (2004 年), pp. 189-201.

V. Reviews

- 池上冬樹 「「ウェイクフィールド」ナサニエル・ホーソン著 柴田元幸訳 「ウェイクフィールドの妻」エドゥアルド・ベルティ著 青木健史訳——同じ情況を生きる主人公による二編 (味読・愛読 文學界図書室)」『文學界』2005 年 2 月号, pp. 347-350.
- 大杉博昭 「Keisuke Kawakubo, Nathaniel Hawthorne: His Approach to Reality and Art」『フォーラム』10 日本ナサニエル・ホーソン協会 (2005 年), pp. 47-51.

- 高橋勤 「増永俊一(著)『アレゴリー解体——ナサニエル・ホーソーン作品試論』」 『英語青年』
2004年9月号, pp. 52-53 (380-381).
- 巽孝之 「伊藤詔子・吉田美津・横田由理(編著)『新しい風景のアメリカ』」 『英語青年』
2004年4月号, pp. 55-56 (55-56).
- 中村正廣 「増永俊一(著)『アレゴリー解体——ナサニエル・ホーソーン作品試論』」
『フォーラム』10 日本ナサニエル・ホーソーン協会 (2005年), pp. 53-59.
- 武藤侑二 「入子文子(著)『ホーソーン・《緋文字》・タペストリー』」 『英語青年』2005年5月号,
pp. 49 (113).
- Sasaki, Eitetsu 「Michael Newbury, Fighting Authorship in Antebellum America」 『フォーラム』9
日本ナサニエル・ホーソーン協会 (2003年), pp. 91-98.
- Takemura, Kazuko 「Hawthorne's Life Revisited」 『NHSJ Newsletter』23
日本ナサニエル・ホーソーン協会 (2005年), pp. 7-9.

VI. Essays & Miscellanies

- 青山義孝 「編集後記」 『フォーラム』9 日本ナサニエル・ホーソーン協会 (2003年), p. 99.
- 阿野文朗 「国際渉外室だより」 『NHSJ Newsletter』23 日本ナサニエル・ホーソーン協会
(2005年), pp. 12-14.
- 入子文子 「関西支部研究会」 『NHSJ Newsletter』23 日本ナサニエル・ホーソーン協会
(2005年), p. 10.
- 大場厚志, (西谷拓也, 舌津智之, 小久保潤子) 「「ウェイクフィールド」を読み直す」
(ワークショップ載録) 『フォーラム』10 日本ナサニエル・ホーソーン協会 (2005年),
pp. 61-85.
- 川窪啓資 「ホーソーン生誕200年記念ホーソーン協会大会(於マサチューセッツ州セイラム)
2004年7月1日-4日参加体験記」 『NHSJ Newsletter』23 日本ナサニエル・ホーソーン協会
(2005年), pp. 5-7.
- 倉橋洋子 「中部支部研究会」 『NHSJ Newsletter』23 日本ナサニエル・ホーソーン協会
(2005年), p. 10.
- 「編集室だより」 『NHSJ Newsletter』23 日本ナサニエル・ホーソーン協会 (2005年),
pp. 11-12.
- 「編集後記」 『フォーラム』10 日本ナサニエル・ホーソーン協会 (2005年), p. 87.
- 小久保潤子, (西谷拓也, 大場厚志, 舌津智之) 「「ウェイクフィールド」を読み直す」
(ワークショップ載録) 『フォーラム』10 日本ナサニエル・ホーソーン協会 (2005年),
pp. 61-85.
- 齋藤幸子 「2003年度日本ナサニエル・ホーソーン協会会計報告」 『NHSJ Newsletter』23
日本ナサニエル・ホーソーン協会 (2005年), p. 16.
- 島田太郎 「会長挨拶」 『NHSJ Newsletter』23 日本ナサニエル・ホーソーン協会 (2005年), p. 1.
- 舌津智之, (西谷拓也, 大場厚志, 小久保潤子) 「「ウェイクフィールド」を読み直す」

- (ワークショップ載録) 『フォーラム』10 日本ナサニエル・ホーソーン協会 (2005年), pp. 61-85.
- 當麻一太郎 「東京支部研究会」 『NHSJ Newsletter』23 日本ナサニエル・ホーソーン協会 (2005年), pp. 9-10.
- 「事務局だより」 『NHSJ Newsletter』23 日本ナサニエル・ホーソーン協会 (2005年), pp. 9-10.
- 乗口眞一郎 「米国ホーソーン協会 2002年大会に参加して」 『フォーラム』9 日本ナサニエル・ホーソーン協会 (2003年), pp. 79-90.
- 西谷拓也, (大場厚志, 舌津智之, 小久保潤子) 「「ウェイクフィールド」を読み直す」 (ワークショップ載録) 『フォーラム』10 日本ナサニエル・ホーソーン協会 (2005年), pp. 61-85.
- 矢作三蔵 「資料室だより」 『NHSJ Newsletter』23 日本ナサニエル・ホーソーン協会 (2005年), p. 11.
- 遊佐重樹 「仙台支部研究会」 『NHSJ Newsletter』23 日本ナサニエル・ホーソーン協会 (2005年), p. 9.
- Fukuoka, Kazuko 「Symposium: Hawthorne and the 'Other」 『NHSJ Newsletter』23 日本ナサニエル・ホーソーン協会 (2005年), pp. 3-4.
- Iwata, Tsutomu 「Otherness within One's Own Self」 『NHSJ Newsletter』23 日本ナサニエル・ホーソーン協会 (2005年), p. 4.
- Takemura, Kazuko 「"Has Pearl Performed Her Own 'Errand'?: A promiscuous Story of Alterity and Recognition"」 『NHSJ Newsletter』23 日本ナサニエル・ホーソーン協会 (2005年), p. 5.
- Nakamura, Noriko 「The Dependency of Hester in the Represented Mother Earth in The Scarlet Letter」 『NHSJ Newsletter』23 日本ナサニエル・ホーソーン協会 (2005年), p. 1.
- Narita, Masahiko 「Special Lecture by Prof. Shunsuke Kamei "Hawthorne as Children's Book Author"」 『NHSJ Newsletter』23 日本ナサニエル・ホーソーン協会 (2005年), pp. 3.
- 「Who is Maule?: The Portrait of the Other in The House of the Seven Gables」 『NHSJ Newsletter』23 日本ナサニエル・ホーソーン協会 (2005年), pp. 5.
- Nishitani, Takuya 「Workshop: Reading "Wakefield"」 『NHSJ Newsletter』23 日本ナサニエル・ホーソーン協会 (2005年), pp. 2-3.
- Sugawara, Daiichita 「Perception and History in "My Kinsman, Major Molineux"」 『NHSJ Newsletter』23 日本ナサニエル・ホーソーン協会 (2005年), p. 2.
-

追記

記載漏れの論文等もあろうかと心配しています。お気づきの点などございましたら、資料室担当者までご一報下さい。なお、論文等ご執筆の折には、資料室に一部お送りいただくか、タイトルなどをご連絡いただければ幸いです。土井雅之氏と野口孝之氏の協力に感謝します。(川村)